

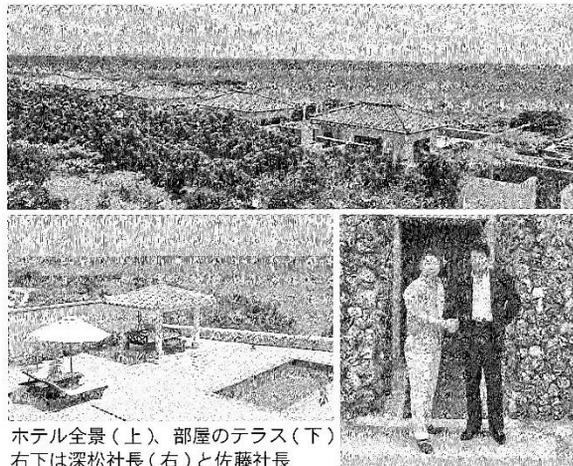
仙台のビジネストレンドが20分でわかる!

観光

沖繩の高級リゾートホテルを運営 株深松組と株たびのレシピアがコラボレーション

沖繩県宮古島にあるリゾートホテルを、地元建設業の株深松組（本社仙台市青葉区、深松努社長）がこのほど取得、地元旅行代理店、株たびのレシピア（太白区、佐藤秀彦社長）が運営に乗り出した。戸建ての宿泊施設が全6棟。宿泊者のみが利用できるプライベートトビーチも備える。東北からの顧客のみならず、国内外のセレクトな旅行者をターゲットにし、ここをきっかけに、東

北への誘客にもつなげたい考えだ。ホテルは「たびの邸宅ヴィラリゾート」。沖繩県宮古島本島から伊良部大橋で結ばれる伊良部島にある。これまで船で渡航していたが、橋の完成で陸上交通が利用でき利便性が一気に向上した。宿泊施設は、沖繩の伝統的な赤瓦の平屋建ての民家の雰囲気を出している。どの部屋からも一直線に広がる水平線が一望できるほか、さらに各棟にはプライベートプール、ベッド付き東屋などプライベート性を保っている。客室は約40平方メートル。1棟2人から3人の宿泊人数という完全なプライベート空間。料理は地物にこだわったフレンチと和食、琉球創作料理をメインと



ホテル全景（上）、部屋のテラス（下）
右下は深松社長（右）と佐藤社長

「伊達茶」のおいしい飲み方を披露する矢部社長

している。1泊1人4万円台（夕食別）から。現在、内装や調度品を新たにリニューアルしているほか、11月にはテラスにジャグジーバスを新たに設置する予定でいる。

一大リゾート地に変貌
宮古島は沖繩本島に次ぐ新たなリゾート地として注目を浴びている。大手デベロッパーが注目、複数のリゾートホテル計画を進行している。その部屋数は3000室ともいわれ、一大リゾート地に変貌

を遂げる可能性を秘めている。さらに伊良部島内にある下地島空港はかつて飛行機の訓練港であったが、沖繩県と三菱地所などが活用策を打ち出し国際・国内線の定期便を誘致して18年10月開業予定で、一気に利便性が高まるエリアとなる。

両社ではこれら需要を見込んでの取得運営。たびのレシピアでは宮城県蔵王町、神奈川県鎌倉市、沖繩県恩納村、本部町で既に貸別荘「たびの邸宅」を展開中でこれらとの相乗効果を狙い、将来的に東北への観光客誘致につなげたいと考えている。取得した深松組も、成長著しい沖繩で建設業としての進出につなげたいと考えている。

新ブランド「伊達茶」8月5日発売

矢部園茶舗（本社・塩釜市、矢部亨社長）では、石巻市桃生町産の茶葉を使った「伊達茶」



「伊達茶」のおいしい飲み方を披露する矢部社長

のお披露目を7月27日、鹽竈神社大講堂で行った。「伊達茶」は、これまで桃生茶として販売されていたが、風味豊かな桃生のお茶をもっと全国に知ってほしいという思いから、伊達政宗公が桃生に茶栽培を奨励したことにちなんで名づけられた。種類は煎茶、玄米茶、手摘み煎茶の3種。「伊達茶」は、8月5日より矢部園と同社ホームページで販売している。

豊かで楽しい快適な生活をお届けしております。

「火」と「水」廻りの小さな修理からリフォームまで

創業410余年の信頼と実績



建設業許可宮城県知事般(17)3730号/仙台市ガス局指定店
仙台市上下水道・ガス工事公認店/東北電力電化普及協力店

- ◆本店(一番町) ☎0120-026-837
- ◆卸町リフォーム館 ☎0120-599-261
- ◆荒巻店 ☎0120-135-026
- ◆泉中央店 ☎0120-026-286
- ◆仙台南店 ☎0120-996-268
- ◆ガスショップタゼン ☎0120-995-268